

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2912

科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催方法	■対面（ 浜田キャンパス ）			
				□オンライン（同時・録画・資料提示）			
				□対面（ ）・録画			
2. 科目名	正式科目名	政策課程論			クラス名		
	副題				配当年次	2・3	
					受入学年		
	旧科目名						
	学問分野	番号	22	名称	政治学		
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群		
3. 担当教員名	島田 尚徳						
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	春学期（集中）			
6. 開講期間 曜日・時間	2021年9月7日（火）～ 2021年9月10日（金） 集中講義 9:00 ～ 18:00						
個別開講日	1回目 /	2回目 /	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /	
	7回目 /	8回目 /	9回目 /	10回目 /	11回目 /	12回目 /	
	13回目 /	14回目 /	15回目 /	16回目 /	試験日	/	
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」						
8. 募集人数 （総授業定員）	5人 （ 人）		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考			

10. 科目内容・授業計画	<p>本講義では、政治学・行政学的な視点から「政策過程」を解説します。「政策過程」は、一般的に、①問題の発見、課題の設定、②政策の立案、③政策の決定、④政策の実施、⑤政策評価という一連のプロセスのことを指します。このプロセスの基礎的な概念について学ぶとともに、それぞれのプロセスにおける参加者の行動、そして参加者の行動を左右させる制度やルールについて考察していきます。</p> <p>講義は、戦後の日本における政策過程の全体像など、具体的な事例を交えながら進めていきます。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策過程論の基本概念について理解できるようになる。 ・現代社会における政策の役割が理解できるようになる。 ・政治や行政と市民の関係について、自分の意見をもち、今後の改善の方向性を検討できるようにする。 <p>以下の15回のテーマは、講義の進捗状況や理解状況に合わせて調整され変更されることあります。変更する際には、授業中に知らせます。</p> <p>第1回 インTRODクシヨン～政策過程論とは～ 第2回 日本における政策過程の変遷① 戦後日本の政治概説 第3回 日本における政策過程の変遷② 執政制度 第4回 日本における政策過程の変遷③ 1990年代の政治行政改革と現在の政官関係 第5回 日本における政策過程の変遷④ 日本の行政組織制度 第6回 日本における政策過程の変遷⑤ 公務員やその職場組織制度の特徴 第7回 政策の形成と執行① 公共政策とはなんだろうか 第8回 政策の形成と執行② 政策立案過程 第9回 政策の形成と執行③ 政策の決定 第10回 政策の形成と執行④ 予算の作られ方 第11回 政策の形成と執行⑤ 政策の執行と評価 第12回 政策過程における中央政府と地方政府の関係 第13回 政策過程の具体的事例① 沖縄をめぐる政策過程～これまでの沖縄振興～ 第14回 政策過程の具体的事例② 沖縄をめぐる政策過程～これからの沖縄振興～ 第15回 まとめ</p> <p>授業は講義形式で行います。上記のテーマごとの講義のあと、日々、コメントカードに理解したこと、自らの意見、質問等を書いて、考えを整理していく時間も設けたいと思います。質問等については、次回の講義で、有益な内容については回答し、理解の手助けも行っていく予定です。</p> <p>また、具体的な政策過程のイメージを持ってもらうために随時、実際の政治や行政の現場などについても紹介します。</p>		
11. 試験・評価方法	日々のコメントカードの内容 50% 講義終了後の試験（理解度把握のためのレポート） 50%		
12. 別途負担費用			
13. その他特記事項	<参考文献> 興味のある学生は、以下で興味のある参考文献を読んでおいてください。政策過程を考える上での有益な視点が整理されています。 <ul style="list-style-type: none"> ・新藤宗幸『概説 日本の公共政策 新版』東京大学出版会、2020年 ・大森彌『官のシステム』東京大学出版会、2006年 ・久米郁男『原因を推論する 政治分析方法論のすゝめ』有斐閣、2013年 ・秋吉貴雄『入門 公共政策学 - 社会問題を解決する「新しい知」』中公新書、2017年 ・秋吉貴雄・伊藤修一郎・北山俊哉『公共政策学の基礎 [第3版]』(有斐閣、2020年) ・石橋章市朗ほか『公共政策学』(ミネルヴァ書房、2018年) ・松田憲忠・岡田浩編『よくわかる政治過程論』(ミネルヴァ書房、2018年) ・高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書、1979年。 <p>そのほかの参考文献は講義のなかでそのつど紹介します。</p> <p><その他> 戦後日本の政策過程の変遷や、公共的な問題の解決策に興味のある学生の受講を歓迎します。また、将来の職業選択として公務員を考えている学生や、公務員の世界に興味がある学生の受講も歓迎します。民間企業との比較も交えながら、政策の立案や執行などを担う公務員の世界についても紹介し、学習できるようにします。</p>		
14. サテライト科目の社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料提示）へ変更になる場合があります。